

令和元年度（2019年度）第1回北網圏域地域医療構想調整会議（書面開催）における意見等

No.	該当資料 ページ等	所属団体名	意見等（要旨）	意見に対する当部の考え方※
1		北見医師会	・地域の実情を把握し、それに対応するための検討が必要である。	・今後とも、地域の実情把握や課題の検討に必要なデータの整理等を行い、地域医療構想調整会議等の場で検討をすすめて参りたいと考えております。
2	資料2-4 3ページ	全国健康保険協会 北海道支部	・初期救急医療体制の維持には、初期救急医療を担う医師の確保に加え、住民に対する適切な医療機関や救急車の利用に関する一層の啓発が不可欠であると考えられる。平成30年1月～12月における全国健康保険協会北海道支部加入者であって、1年間に1回以上夜間・早朝・時間外に医療機関へ受診した履歴のある加入者のうち、約35000人は受診時に検査や処置を受けていない。この約35000人全てが緊急性のない受診をしているとは言えないものの、緊急性のない受診も一定程度あるものと考えられる。当支部において、当該分析結果の提供や住民啓発に最大限協力する準備があるので、事務局には今後開催する会議において、「住民に対する適切な医療機関や救急車の利用に関する啓発」について、具体策を示していただきたい。	・当部においても、住民への普及は重要と認識しております。これまでも市町や医師会、消防機関等の関係機関で構成される地域救急医療対策協議会等において、協議および道民への普及啓発等を実施しており、今後も取り組んで参りますので、ご協力をお願いいたします
3	資料2-4 4ページ	全国健康保険協会 北海道支部	・北網圏域における訪問診療（在宅医療）の現状を見ると、人口10万人当たりの訪問診療を実施している施設数については、全国値の半分以下であり、かつ北海道全体と比較しても大きく下回っている。 北網圏域における訪問診療（在宅医療）の需要の高い65歳以上の人口は、2025年には36.9%に増加することが見込まれており、この数値は北海道全体を2.5%上回っている。訪問診療（在宅医療）の確保は、入院連携や療養支援等、医療と介護の連携の肝となるものである。資料2-4では、「今後、訪問診療の需要増加が見込まれるため、在宅医療を実施する医療機関の設置促進は重要な課題です」との記述はあるものの、2025年を見据えた具体的な促進策には触れていない。北網圏域の高齢化率を踏まえた場合、訪問診療（在宅医療）の確保に向けて、加速度的な議論が必要です。事務局は、今後開催する会議において、基金の活用も含めた具体的な促進策を示すとともに、期限を決めた集中的な議論ができるよう、環境整備をお願いする。	・当部においても、在宅医療の推進は重要な課題と認識しており、資料2-4「北網圏域の外来医療機能の状況等」（案）の2地域で不足する医療機能の現状・課題に在宅医療の提供状況及び課題について記載するとともに、資料1-2「地域医療構想調整会議における重点課題の設定について」のとおり、重点課題を「在宅医療等の提供体制の確保」に設定し、今後の北網圏域地域医療構想調整会議等において、基金の活用に向けた検討や必要なデータの提供など、集中的な議論をすすめていく考えであります。

No.	該当資料ページ等	所属団体名	意見等（要旨）	意見に対する当部の考え方※
4	資料2-4 3ページ	網走市	<ul style="list-style-type: none"> ・（2）初期救急医療に関する外来医療の状況・課題の（現状）で休日夜間急患センターに網走休日内科急病センターが北見市の急病センターを併記されているが、意味合いが違うように感じる。それぞれ記載してはどうか。また、9時から17時までの開設で、夜間は開設していないので、それがわかるような記載が望ましい。 ・（課題）の2つ目の○は、記載不要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日夜間急病センターは、地方自治体が整備する急病センターの総称として区分させていただいているので、そのまま掲載させていただきます。また、おおよその診療時間がわかるように、上段の北見市と同様に（日・祝日等昼間）と記載を修正させていただきました。 ・（課題）の2つめは削除させていただきます。
5	資料1-2 資料2-4	斜里町	<p>○重点課題の設定について（在宅医療等の提供体制の確保）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斜里町では、既に数年前から現院長のもと、訪問診療を実施している。 ・さらなる充実を意識しながら、もう1名の医師にも加わってもらっている。 ・加えて、地域包括ケアシステムの司令塔的役目を医師が担う必要がある中で、町立病院医師の役割は重要であると捉えている。 <p>○北海道外来医療計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想についての協議は、在宅医療を取り上げているものの機能別病床数（入院医療）に重きが置かれ、病院としての入り口である外来機能については、置きりにされているような違和感を感じていた。 ・今回、外来医療計画を策定することに異論は無いが、かかりつけ医など偏在が明確になり、多いところから少ないところへの医師の移動を期待するところ（当町では既存診療所の継承をいかにできるかを課題としている）だが、見える化などの方策が、この計画では今ひとつ見えてこないと感じている。 ・協議・意見交換の場というか、この計画について理解を深める機会を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの在宅医療等の実績に基づいた課題やノウハウ等を情報提供いただき、今後とも議論を進めて参りたいと考えております。 ・これまでの「地域医療構想」では、入院医療に関する議論が主となってきましたが、効率的な医療提供体制の構築に当たっては、外来医療も含めた医療機関間の役割分担・連携等についても議論を深めることが重要ということで、外来医療計画が策定されることになったところです。 ・今後とも地域医療構想調整会議、医療専門部会等において、必要なデータなどを提供しながら、入院医療・外来医療ともに議論を進めて参りたいと考えております。

A

B

※「意見に対する当部の考え方」のA～Eの区分は次のとおりです。

A 意見を受けて案を修正したもの

B 案と意見の趣旨が同様と考えられるもの

C 案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの

D 案に取り入れなかったもの

E 案の内容についての質問等